



日常生活における日用品購入方法の 支援に関する研究

政策情報学部 政策情報学科 4年

渡辺ゼミ

0840091

川上 茜

結果

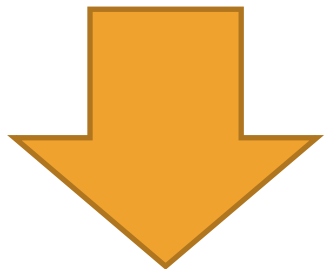
- 自宅にある日用品の個数、購入場所、価格の情報を登録、表示することが出来たことによって



- 日用品を把握できるようになり、無駄な物も買わずにすむようになり、価格も安い価格で購入できるようになり節約に繋がる。

背景・目的

- 一人暮らしだと、家にある日用品で残っているものが分からない
- 多く残っている物も買ってしまうことがある
- 価格が前回よりも高いのかわからない



- いつでも日用品を把握できる
- 無駄な物を買わなくて済む
- 価格を比べて安い店で買う

日用品の購入についての現状

- 携帯電話に購入リストはメモしている
 - ⇒ 帰宅する頃になると忘れてしまう
- 品名についての記憶や記録が曖昧
 - ⇒ 買うのを諦めてしまうことがある
- 前回の購入価格を忘れている
 - ⇒ 価格が安いのか分からない

問題点・解決法

- 品名を思い出せない
- 買い物を忘れて帰ってきてしまう
- 前回の購入価格を覚えていない
- 無くなってから気付いて買う
- 携帯電話から利用できない



品名、購入日、価格、場所といった情報を登録し、購入日の履歴から購入頻度を計算し無くなりそうな頃にメールなどでお知らせする。買い物先では、過去の購入履歴の一覧を確認し、僅かだが節約ができるようにしたい。

既存サービスとの比較

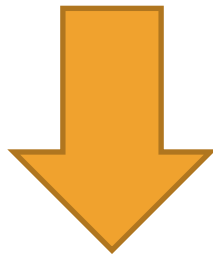
	購入頻度	購入場所	お知らせ機能	携帯での使用	備考
家計簿ソフト	△	○	×	×	○
twitterの利用	×	×	×	○	○
お買い物帳	×	○	×	△	○
食材管理	×	×	×	△	×
ショッピング！	×	△	×	△	×
たいやきくん	×	×	×	△	×



全ての機能を満たしているサービスが無い

求められるサービス

- 日用品の品名、個数、購入日、購入場所、価格を自宅以外からでも検索、表示できる
- 簡単な操作での登録



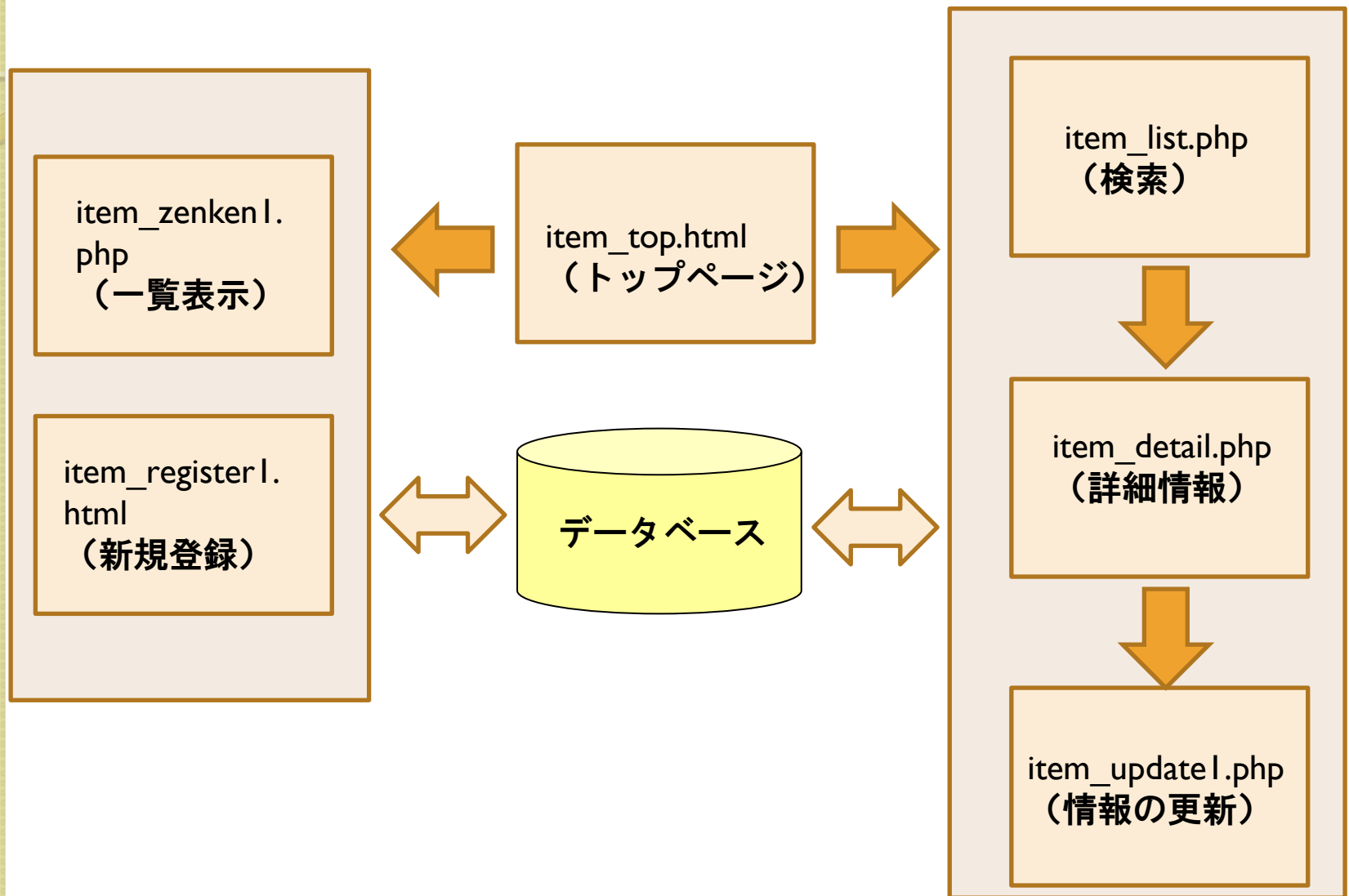
- 携帯電話を利用した、日用品を管理できるアプリケーションが必要

求められる機能

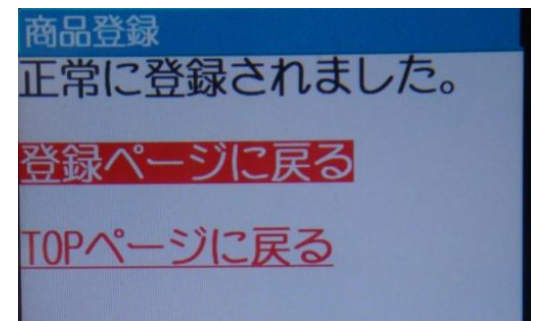
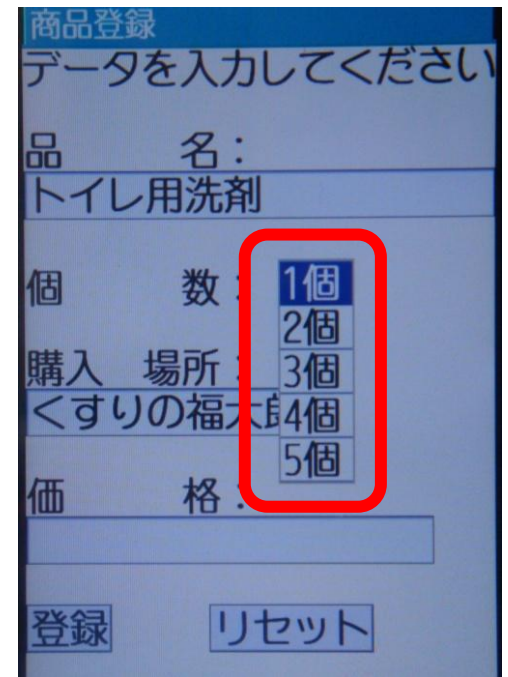
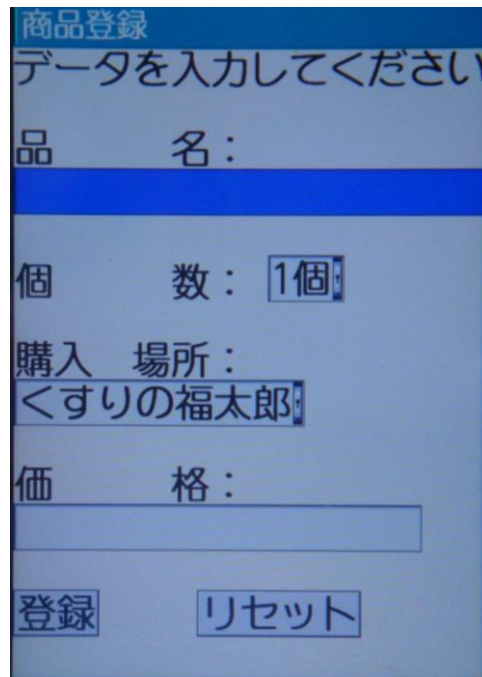
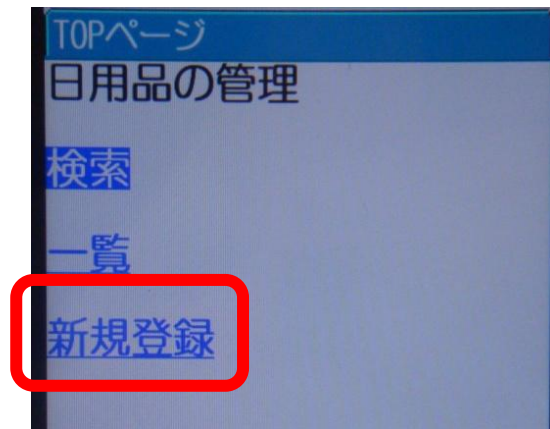
- 商品情報の管理
 - 1、品名、自宅にある個数、購入日、購入場所、購入価格、備考の情報を登録し表示する
 - 2、新たに購入時に情報を更新する
 - 3、登録した情報の検索、表示
- 購入履歴の管理＝頻度の計算
- お知らせ機能の設定
- バーコードの登録

これらを携帯などの端末で利用できることを目指す

システム構成



実装（新規登録）



実装（一覧）

商品全件表示	
品名：洗濯用洗剤	
個数：2	
購入日：2012-01-21	
購入場所：くすりの福太郎	
価格：238円	
ID：5	
前購入日：2012-01-19	
品名：トイレットペーパー	
個数：2	
購入日：2012-01-19	
購入場所：くすりの福太郎	
価格：198円	
ID：6	
前購入日：2011-11-10	

実装（検索・更新）

商品名一覧

洗濯用洗剤

[トイレットペーパー](#)

[シャンプー](#)

[コンディショナー](#)

[ボディーソープ](#)

商品詳細

品名：洗濯用洗剤
個数：1
購入日：2012-01-19
購入場所：イトーヨーカ堂
価格：245円
次回購入予定日：2012-01-19
ID：5

更新

[一覧](#)

[TOP](#)

商品情報更新

データを更新してください。

ID：5

品名：洗濯用洗剤

個数：**1個**

購入場所：
[くすりの福太郎](#)

価格：

商品情報更新

正常に修正されました。

商品一覧に戻る

評価

検索	○
詳細ページ	○
情報の更新	△
新規登録	△
一覧表示	○
購入履歴	×
お知らせ機能	×
購入頻度設定	×

考察

- 予定した機能の実装完了とはいかなかったが、目的である日用品を管理できるようになった。
- 備考があると、メーカー名などを入力することができる。
- 過去の購入日の情報から、購入頻度を自動で計算することで、購入頻度が分かるようになる。
- お知らせ機能がつくことで、次回購入予定日が近くなった時にメールで知らせ、買い忘れを防ぐ。
- 購入頻度設定があることで、実際の購入日と購入予定日に開きが生じた際に、予定日を設定し直すことができる。
- バーコードを登録できれば、読み取ることで詳細ページを表示し更新できるため手間を省くことができる。
- 情報を他の人と共有することで、より効率的な買い物を目指す。
- これらの機能が実装されることで、買い忘れを防ぎ節約にも繋げることができる。

結果と今後の課題

- 結果

自宅にある日用品を把握できたことで、無駄な買い物が減り、安い価格で購入できるようになったことで節約にも繋がる。

- 今後の課題

- 購入履歴を表示する
- お知らせ機能を追加する
- 購入頻度設定を可能にする
- バーコードの登録機能を追加する
- 情報の共有